

農業環境工学専攻 修了に必要な単位について

このグリーンノートの「農業環境工学専攻」科目履修表にも記されていますが、農業環境工学専攻を修了するためには、履修方法として、

1. 講義 18 単位、特別実験及び特別研究 12 単位、合計 30 単位以上を修得しなければならない
2. 下記により履修したときは、8 単位以内に限り前項の 30 単位に算入することができる。
 - (1) 本研究科の他専攻及び農学部 of 授業科目並びに本学の他の研究科、学部の授業科目について、教育上有益と認められ、履修したとき。
 - (2) 研究科英語科目
 - (3) 他の大学の大学院（外国の大学の大学院を含む。）の授業科目について、教育上有益と認められ、かつ、所定の手続きを経て履修したとき。

※「学生便覧」から抜粋

を満足する必要があります。

※以上の内容、および各科目区分の授業科目については、「学生便覧」（宇都宮大学大学院農学研究科）に詳しい記載がありますので、これらをよく読んでください。もし不明な点があれば、身近な先生に気軽に尋ねてください。

また、修士論文発表会として、計画発表会（1 年生後期）、中間発表会（2 年生後期）、最終発表会（2 年生後期）の 3 つで、それぞれ研究内容についての報告が課せられています。

これらの発表会では、指導教員および数名の副指導教員による、審査が行われます。

さらに、農業環境工学専攻では、「Communication skills for Engineers」、「研究の方法」、「データ解析法」、「環境物理数学」、「数値シミュレーション」、「モデリング論」は農業環境工学専攻の基礎科目としての位置付けが高く、また修士課程在学中および修了後、技術者あるいは研究者として必要な内容が網羅されています。カリキュラム上は「選択科目」ですが、農業環境工学科の教員スタッフは、必修と同等であると認識しており、修士の学生に対して強く履修を希望します。